VIII 斉 重三助 (16/11/46) 17729/K

(1) 本人ハ1946年7月ダライヤ、ダロドック、刑ム所ニ於テ、捕虜ニハ150名、日本人42名
LUKSENBURG (ルクセンブルク) 娘ニ指揮セルモノ。
捕虜ハ計画ニ於テ囚人ニ比シ、ソノ取扱ヒ良好ナリシモノ。即チ「斉重三助ハ彼ノ暴力ヲ
擁護的ニ性質ノ持チ主ナリシ。本件ハ彼ガ刑務所内ニ於ケル強制的ニ基ケルモノ
44年2月ヨリ同年5月迄ノ期ニ於ケル、スコラン、慰安所ニ於ケル事ナリ」

上記ニ基キ弁護官ニ本容疑者ヲ訊問スルニ次ノ如キ訊問ヲ行ヘリ。

1. 生年月日 宮城県生 4/2/1903
2. ソノ年齢 1/10—42
3. 職歴、概要?

「花ラヒ」ホテル大阪ー配属(住長)
1943年2月:「ペナロガン」駐屯、ホテル中隊ー配属
1943年7月、「バタビヤ」ホテル大隊ー転任、
1944年2月末、「スコラン」ニ転ジ来ル婦人収容所ノ庶務
本職ノ経歴概略ハ以上ノ如シ。

44年2月 → 44年7月迄

イントネシヤ、人夫陣ノ教育ニ従事、
4. 貴下ハ44年2月スコラン、各キャンプヨリ婦女ヲ徴シ、日本人慰安所ニ入ラシメタル件ヲ知ルヤ。

「否」

5. 貴下ハ慰安所ヘ行キタルコトアリヤ?

「否」

6. 貴下ノ慰安所ト接合シタル「レストラン」ニ行キタルコトアリヤ?
スコラン-35ヲ

「アリ。4回慰安所ニ接合シタル「レストラン」ニ行キタルコトアリ。
コノ「レストラン」ハ「スコラン クラブ」ト称シタリ。

7. 「レストラン」ノ状況ヲ述ベヨ。

「各国ノ給仕娘10名ガ居リタルモ、ソノ中ニハインドネシヤ人、混血ヲ含リリ。
日本人ハ娘ノ指名ヲ許サレザリキ。

8. 「レストラン」ヨリ日本人慰安婦ニ帰リタリヤ?

「同ホテルニ宿泊シ、夜半ニ帰リタル事ハアルモ「レストラン」ヨリ直ニ帰リタル事ハ無シ。
ソノ他ニ関シテハ、ホテルノ娘ト踊リ踊リタルノミ。

9. 貴下ハ慰安所ノ方ヲ見タリヤ。

「否。慰安所ノ方ヲ見タリヤ。」

397

10. 貴下ハ E. LUKSENBURG ト云フ娘ヲ知リヤ？

「然

11. 此ノ娘ハ クロドック刑務所ニ於テ 150名ノ日本人ノ 貴下ノ確認シ 貴下ハ スコラン 慰安所ニ於テ 彼女ノ暴力ヲ以テ 性交ヲ行ヒタル犯人ナル事実ヲ知悉セリヤ。
如何ナル點ヨリ 斯カルコトヲ 知リ得ルヤ？

「余ハ クロドック刑務所ニ於テ 一婦人ノ 指摘セラルル 者ニアリ。
此ノ余ハ 彼女ヲ見知リ居レリ。 彼女ハ 余ノ 指摘セラルルニ 余ハ 子ヲ解ケリ。
余ハ 彼女ヲ人違ヒセラレリト 確信ス。 余ハ スコラン ニテ 慰安婦ト 同居セリ

12. 他ニ 物語アリヤ？

「ドクセン ニテ 数回 行キテ 慰安婦ト 接シタルノミ。 此ノ 項 終ル

13. 此ノ 貴下ノ 娘ニ 対シ 告訴ヲ セントリト 予フルヤ？

「然リ。 余ニ 確信アリ。 余ハ 無罪ナリ。

14. 他ニ 述ブルコトアリヤ？

「否。

15. 貴下ハ 本調書ヲ 日本語ヲ 以テ 読ミ聞セラレ 誤記ナキヤ 申立アリヤ？

「アリ。

訊問官	立会	容疑者
M.A. Schuster	S. Hamaguchi	T. Sai

368

第三日目 午後

訊問官ハ 1946年 11月 21日 午後 1時 刑務所ニ於テ 本容疑者ヲ
11名ノ 日本人中ニ 混ジ 証人ニ 首実験セシメタルニ：E. LUKSENBURG 娘 (12人)
ハ 何ノ 躊躇セズ 容疑者ヲ 指シ 次ノ如ク 述ベタ。

此ノ男ハ 1944年 スコラン ニ於ケル 慰安所ニテ 私ヲ 10回 暴力ヲ
以テ 強制的ニ 性交ヲ 行ヒマシタ。
私ハ 彼ガ 此ノ ガイコク 兵ニ 常ニ 命令スル 行ヲ。 彼ハ 数回 手デ (カ所)
私ノ 乳ヲ 突キ、 鉄ノ打ッタ 靴デ 私ノ 脚ヲ 蹴ッタ。
彼ハ 常ニ 私ガ 他ノ 者ニ 暴行ヲ 性交ヲ 承諾シ 私ガ 痛イト 泣ケバ
此ノ 様ニ スルト イッテ。

3枚